



教室における自己評価総括表を公表します



基本情報

■ 教室名	ハッピーテラス網島教室 [児童発達支援]		
■ 保護者さま等教室評価実施期間	令和7（2025）年11月1日(土)	～	令和7（2025）年11月22日(土)
■ 保護者さま等教室評価有効回答者数	(回答者数) 4 名	/	(対象者数) 11 名
■ 職員自己評価実施期間	令和7（2025）年11月1日(土)	～	令和7（2025）年11月15日(土)
■ 職員自己評価有効回答者数	(回答者数) 5 名	/	(対象者数) 9 名
■ 職員自己評価表作成日	令和7（2025）年11月25日(火)		



分析結果



	教室の強み（中）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか。	発達支援室は、法令を遵守したスペースを確保している。 また、支援プログラムでは、内容に応じてチーム設定等を行い、個別・小集団支援にすることでお子さまがより活動等がしやすいスペースを確保している。	引き続きお子さまが活動等がしやすいスペースを提供するとともに、保護者さまにもモニターや子育てサポート加算等を活用して、支援場面の観察や参加をしていただき、活動等のスペースが十分に確保されているかを判断していただく取組を行う。
2	お子さまのことを十分理解し、お子さまと保護者さまのニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されているか。	お子さまの支援計画期間毎にアセスメントをとり、ケース会議を経て児童発達支援計画（個別支援計画）を作成している。	引き続きお子さまと保護者さまとともにニーズや課題に沿った個別支援計画の作成に努める。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さまや保護者さまに対して発信されているか。	ラウンジ内に月間の活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を掲示するとともにホームページへの掲載やメール配信のハッピーテラス通信にて発信をしている。	引き続きお子さまと保護者さまにわかりやすい情報発信を行う。
4	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	非常災害の発生に備えた、避難、救出その他必要な訓練を計画的に実施している。	引き続きお子さまと一緒に非常災害の発生に備えた、避難、救出その他必要な訓練を年二回以上実施する。 実施後は保護者アプリやホームページにて報告を行う。

	教室の弱み（中）だと思われること ※教室の課題や改善が必要だと思われること	教室として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、お子さまにわかりやすく構造化された環境になっていないか。 また、教室の設備等は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	お子さまにわかりやすく構造化された環境を整備するだけではなく、セントラル・コヒーレンスに対しても合わせて整備する必要がある。	引き続き物理的な構造化、時間の構造化、活動の構造化について取組や工夫をし、お子さまが安心して過ごせる環境を整備する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さまと活動する機会があるか。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さまと活動する機会の提供を検討する必要がある。	必要に応じて近隣の保育所や認定こども園、幼稚園等に依頼をし、他のお子さまと交流や活動する機会を設ける。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	家族等が参加できる研修会や保護者会（デコボコベース株式会社、地域自立支援協議会主催）は随時開催しているが、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の開催を検討する必要がある。	次年度以降に開催を予定している。
4	お子さまの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているか。	お子さまの安全を確保するための計画を策定し、お子さまの安全の確保が十分に行われた上で支援を行っているが、計画が保護者さまに周知徹底されていない。	引き続きお子さまの安全を確保するための計画をホームページに掲載する等の情報発信を行う。